

静岡病院ニュース

順天堂大学医学部附属静岡病院

〒410-2295 静岡県伊豆の国市長岡1129 TEL 055-948-3111

No. 57
2013年10月22日

The screenshot shows the homepage of Juntenodo University Shizuoka Hospital. It features a top navigation bar with links for '受診のご案内' (Consultation), '入院・お見舞いのご案内' (Admission/Condolence), '当院について' (About Us), and '医療連携について' (Medical Cooperation). Below this is a large banner with the text '『不断前進』' (Continuous Progress) and '『診療・教育』' (Treatment/Education). The main content area includes a '新着情報' (Latest News) section with several articles, a '採用情報' (Recruitment Information) section, and a '外来受付' (Outpatient Reception) section with a table of hours. There are also various service icons and links for '救急救急センター' (Emergency Center), '産科・周産期センター' (Obstetrics/Perinatal Center), and '研修医募集' (Resident Recruitment).

ホームページリニューアルなる

膠原病内科 先任准教授
ホームページ委員長

山田 雅人

《ホームページアドレスが変更されました》

<http://www.hosp-shizuoka.juntendo.ac.jp/>

この度、当院ではホームページのリニューアルを行いました。前回のリニューアルから6年が経過しているため、大幅な刷新となりました。

ホームページは患者さんやご紹介いただく近隣の医療機関の方々のみならず、地域の皆さんにとっても当院を知っていただく情報の入り口として重要な役目を持ち、ある意味『病院の顔』といえる存在であると考えています。それを踏まえ、今回は『見やすく、探しやすい、より親しみやすく』を念頭に制作を進めました。

トップページは誰でも見やすいように、シンプルさとわかりやすさを重視しました。また、文字情報に加え写真やイラストを従来より多く採用し、見やすくなるように心がけました。ご覧になりたい内容が、より手軽に探せるようになっていきたいと思います。内容も当院への詳細な来院方法や、院内の各科外来や検査室の配置図など、以前に増して様々な情報を載せました。今後、新着情報や各診療科の外来代診・休診情報、新任医師紹介など、適時更新していく予定です。是非ご利用下さい。

子どものアレルギー疾患について



小児科
先任准教授

松原 知代

5月より赴任いたしました。

専門はアレルギー・リウマチ疾患です。

アレルギー疾患をもつ子どもは増えています。主な疾患は、乳児期から発症する食物アレルギー、アトピー性皮膚炎、気管支喘息です。最近、花粉症やアレルギー性鼻炎も、昔に比べて低年齢で発症しています。アレルギー発症のメカニズムが色々解明されて治療薬が進歩し、子どものアレルギー疾患が治るまたは症状を良くする事ができるようになってきました。しかし、アレルギー疾患は慢性的の病気なので、正しい知識をもって継続的な治療をする事が大切です。

1 食物アレルギー

食物アレルギーとは、原因食物を摂取した後に免疫学的機序(食物に対する免疫反応をおこすこと)を介して生体にとって不利益な症状(アレルギー症状)が引き起こされる現象と定義されます(図1)。色々な症状があります(表1)。診断は血液検査などで食物に対する特異



(図1)

食物アレルギーとは

【定義】 原因食物を摂取した後に免疫学的機序を介して生体にとって不利益な症状が惹起される現象

【主な症状】

- 皮膚粘膜症状** (掻痒感、蕁麻疹、湿疹、粘膜の充血・浮腫など)
- 消化器症状** (腹痛、嘔吐、下痢、血便など)
- 呼吸器症状** (くしゃみ、鼻水、喘鳴、咳そう、呼吸困難など)
- 全身性症状** アナフィラキシー(多臓器の症状)
アナフィラキシーショック
(頻脈、虚脱症状、意識障害、血圧低下)

IgE抗体があるかどうかを検査します。しかし、これは補助的であり、実際に摂取して症状が出るかどうか(食物経口負荷試験)が最も重要です。抗体が陽性でも、摂取して症状がなければ問題ありません。血液検査陽性だけで、食物除去食をしている患者さんを時々みかけますが、

(表1)

食物アレルギーの分類

	症状	発症時期	原因
好酸球性胃腸炎	血便、嘔吐	新生児	ミルク
即時型	蕁麻疹 アナフィラキシー	乳児~幼児	鶏卵、牛乳、小麦、ピーナッツ、魚類など
		学童~成人	甲殻類、魚類、小麦、果物類、そば、ピーナッツなど
食物依存性運動誘発アナフィラキシー	食物を食べて運動した時に即時型の症状が出現	学童~成人	小麦、エビ、イカなど
口腔アレルギー症候群	口腔違和感、口唇・口腔内腫脹	幼児~成人	果物、野菜

実際に症状がない場合には、意味がないだけでなく栄養の偏りから成長障害をきたすので、除去食施行には正しい医師の指導が不可欠です。

最近、いつまでも除去食を継続するより症状のでない少量を食べ続けることで免疫寛容(アレルギー反応がおこらなくなる)となり、食物アレルギーが治ると言われています。多くの施設で経口免疫療法が行われていますが、個々の施設で方法が異なるため、まだガイドラインはなく研究段階です。しかし、不必要な食物除去は極力さけ、症状のでない量を摂取する事が大切です。

2 気管支喘息

気管支喘息は、主に夜間に咳き込んで苦しくなり、ゼイゼイ、ヒューヒューと音がする状態が繰り返しおこる病気です。感染症、冷たい空気や煙などの何らかの刺激で、気管支(肺につながる)に詰まっている空気の通り道が狭くなり、空気を充分吐けない状態になります。気管支のアレルギー反応による慢性炎症が

病気の本態です。子どもはよくカゼをひいて咳がでますが、カゼとの違いは、熱や鼻水などのカゼ症状がない時にも、突然咳がひどくゼイゼイしてきたり、治ってもすぐ繰り返す事です。症状が昼間より夜間にひどく、咳が目覚める時には、喘息の可能性が高いです。慢性の病気のため、症状がない時にも喘息治療薬を継続する必要があります。小児気管支喘息は適切な治療をすると殆ど良くなりませんが、成人喘息に移行すると治りにくくなるので、思春期までに治すのが大切です。



職員紹介



耳鼻咽喉科
先任准教授

楠 威 志
くすのき たけし

Profile

小生の専門は、甲状腺腫瘍と音声治療です。頭頸部腫瘍を取り扱う施設で最も多い手術症例は甲状腺腫瘍です。小生は、日本内分泌・甲状腺専門医に認定されています。音声障害をきたす疾患の中に、反回神経麻痺は、科を問わず遭遇する疾患です。その原因は腫瘍以外に、脳血管障害、術後性のものがあります。症状として音声障害のほか、誤嚥を伴う症例があり、それにより、お食事の楽しみが奪われるなど著しいQOLの低下、さらには誤嚥性肺炎による生命の短縮をきたします。それに対し、音声・嚥下のリハビリの他、改善しなければ喉頭形成術を施行します。現在、高齢化に伴いこのような患者さんが増えつつあり、音声・嚥下に関して耳鼻咽喉科医が担う役割が大きいと考えます。誤嚥が改善すれば、誤嚥性肺炎の軽快、早期離床および入院期間の短縮など患者さんQOL回復のほか、医療費の軽減にも繋がると考えます。今後、反回神経麻痺の患者さんがあれば、ご紹介の程よろしく願います。

個人情報保護方針

順天堂大学医学部附属静岡病院は、「患者さん一人ひとりに、安全で根拠に基づく良質かつ高度な医療を提供する。」ことを基本方針の一つに掲げ、日々努力を重ねております。

昨今の情報化社会において、「患者さんの個人情報」につきましても、リスボン宣言の精神を尊重し適切に保護・管理することが非常に重要であると考えております。そのため当院では、個人情報保護に関する方針を以下のとおり定め、教職員および関係者に周知徹底を図り、確実な履行に努めます。

1 個人情報の適切な収集について

当院が患者さんの個人情報を収集する場合、診療・看護および患者さんの医療のかかわる範囲で行います。その他の目的に個人情報を利用する場合は、利用目的を予めお知らせし、ご了解を得た上で実施いたします。（ウェブサイトにて個人情報を必要とする場合も同様にいたします。）

2 個人情報の利用および収集について

当院は、患者さんの個人情報の利用につきましては、以下の場合を除き、本来の利用目的に範囲を超えて使用いたしません。

- (1) 患者さんの理解を得た場合
- (2) 個人を識別あるいは特定できない状態に加工して(*1)利用する場合
- (3) 法令等により提供を要求された場合

当院は、法令の定める場合を除き、患者さんの許可なく、その情報を第三者(*2)に提供いたしません。

3 個人情報の安全管理について

当院は、患者さんの個人情報について、正確かつ最新の状態に保ち、患者さんの個人情報の漏洩、紛失、破壊、改ざんまたは患者さんの個人情報への不正なアクセスを防止することに努めます。

4 個人情報の確認・修正等について

当院は、患者さんの個人情報について、患者さんが開示を求められた場合には、遅滞なく内容を確認し、当院の「診療情報提供に関する指針」に従って対応いたします。また、内容が事実でない等の理由で訂正を求められた場合も、調査し適切に対応いたします。

5 問い合わせの窓口

当院の個人情報保護方針に関してのご質問や患者さんの個人情報のお問い合わせは、窓口（医事課又は各外来・スタッフステーション窓口）までお申し出ください。

6 法令の遵守と個人情報保護の仕組みの改善

当院は、個人情報の保護に関する日本の法令、その他の規範を遵守するとともに、上記の各項目の見直しを適宜行い、個人情報保護の仕組みの継続的な改善を図ります。

- * 1 : 単に個人の名前などの情報のみを消し去ることで匿名化するのではなく、あらゆる方法をもってしても情報主体を特定できない状態にされていること。
- * 2 : 第三者とは、情報主体および受領者（事業者）以外をいい、本来の利用目的に該当しない、または情報主体によりその個人情報の利用の同意を得られていない団体または個人をさす。

※この方針は、患者さんのみならず、当院の職員および当院と関係のあるすべての個人情報についても、上記と同様に取扱いします。

『ご来院皆さまの声に対するご報告』

- ◆ いろいろと、ご不便をおかけしました自動入金機は新しい型に変更させていただきました。
- ◆ 診察待ち時間について
予約制の導入を逐次、進めておりますが、診療科の特性の違いもあり、科によっては空き診察室の有効利用など、さまざまな工夫をしております。
- ◆ 採血開始時間
①月～金 朝7時～ ②土曜 朝7時30分～と、採血スタッフの都合により30分開始時間が遅くなります。ご迷惑をお掛けします。

お知らせ

患者さんをご紹介頂く先生方へ

当院では、効率的な診療を受けていただくために、専用の診療情報提供書をご用意しております。専用の診療情報提供書をご希望の場合は、電話またはFAXにて下記へご請求下さい。

請求先：順天堂大学医学部附属静岡病院 医療サービス支援センター医療連携室
電話：055-948-3111 (内線) 3550
フリーダイヤル：0120-78-9914 FAX：055-946-0858